

J R 長崎本線

経営分離に関する要望書

佐賀県ご当局におかれましては、日頃から道路網の整備をはじめとし、地域の公共交通行政にご尽力されておられますことに対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

私どもの基幹道路であります国道207号も、バイパス建設、改良事業と年々着々と進展し、その効果があらわれつつあり、大変喜んでるところであります。

さて、本年2月下旬より取りざたされております九州新幹線長崎ルート  
の建設問題についてであります。JR九州をはじめ佐賀県、長崎県及び福岡県でその実現に向け具体的に検討をされておられることは、西九州地方のさらなる浮揚の大きな起爆剤として、ご同慶に堪えないところでございます。

しかしながら、ただ一つ、あたかも“JR長崎本線（肥前山口駅～諫早駅）”のJRからの経営分離が既定の方針のごとくマスコミ等で報じられていることは、私どもにとりましては誠に憂慮に堪えないところであります。

「整備新幹線着工等についての政府・与党申合せ（平成2年12月24日）四、建設着工する区間の並行在来線は、開業時にJRの経営から分離することを認可前に確認すること。」により、当本線が“並行在来線”として取り扱われているかのようですが、私どもといたしましては、多良岳をはさんで北側と私ども有明海沿岸地域の南側では自然的、社会的、経済的及び文化的環境・条件が著しく異なり、そのような取り扱いには到底承服いたしかねるところでございます。

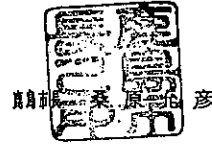
ご承知のとおり、私ども沿線地域は高速道路網からも取り残され、“陸の孤島”ともいわれ、先述の国道207号とJR長崎本線が日常生活の重要な交通手段であるとともに、他地域へのアクセスであり、大都市へつながる大動脈であります。

つきましては、以上の点をおふまえ戴き、私ども沿線住民の心情をお汲み取りの上、地域住民の利便性の確保という基本的な見地から当本線がJ

Rからの経営分離の対象となりませんようご尽力をお願い申し上げますとともに、切にご要望申し上げます。

平成4年6月24日

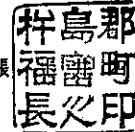
佐賀県知事 井本 勇 様



江北町長 田中 源



杵島郡 福留町長 福留 郎



白石町長 川崎 修



有明町長



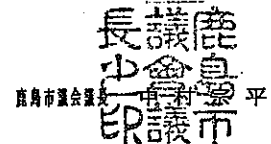
壱田町長 川原 福吉



須野町長 須野 郎



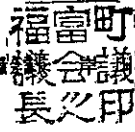
太良町長 杉崎 順之



江北町議会議長 吉岡 林



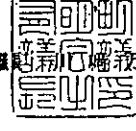
福留町議会議長 久 善



白石町議会議長 喜多 栄



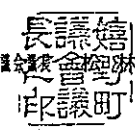
有明町議会議長 三



壱田町議会議長 吉村 光



須野町議会議長 林 章 敏



太良町議会議長 待永 九

